

平成20年度武蔵野市財政援助出資団体経営目標評価シート

団体名		一般財団法人武蔵野市国際交流協会						
①	指標名	各事業における定員充足率の向上			目標値	定員に対する応募者割合を80%以上とする。	実績値	96.6%
	過去の実績	平成17年度	平成18年度	平成19年度	達成率	100.0%	達成状況	未実施・未達成・達成
	(単位: %)							
	取組内容	※20年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 各事業について参加者のニーズに合った企画と広報活動につとめた。						
一次評価	※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。 データをとったのは次の事業で定員合計1,368人に対し応募者合計は1,322人であった。日本語コース、青年及び教員ワークショップ、外国人地域参画プログラム（シリーズ「世界を知ろう」、こども国際交流クラブ、世界の家庭料理教室、プロの芸術家シリーズ、外国語会話交流教室）今後ともさらに応募者が増加するようさまざまな工夫をして行く。							
二次評価	目標を達成したことは評価できる。定員充足率をより一層高めるよう期待する。本市の国際交流協会は他市に比較して幅広く活動を行っていることもあり、市外からのイベントへの参加者が多いが、市からの補助金を主たる財源としている以上、市民への成果還元を明確にしていく必要がある。今後は、各種事業への市民参加率についてもデータを把握すべきで、「まつり」などのイベントではアンケートを実施するなどして市民参加率を明らかにしていただきたい。また日本語教室など参加者が特定される事業については市民参加率を明確にするよう努める必要がある。市民参加率だけでなく、市民ボランティアの満足度向上の工夫や一般市民に対しては「多文化共生」の意義を訴えるなど、国際交流協会の存在意義のPRを市民に対して積極的に行うことが必要である。							
②	指標名	受託、共催等による事業収入の拡大			目標値	前年度比5%増	実績値	前年度比43.2% (3,251千円)
	過去の実績	平成17年度	平成18年度	平成19年度	達成率	100.0%	達成状況	未実施・未達成・達成
	(単位: 千円)	6,128	4,901	2,271				
	取組内容	※20年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 事業の魅力を増して参加者を増加させたり、通訳者派遣や翻訳の受託を推進するなど各事業で収入増を図った。主な収入内訳は次のとおり：日本語学習支援事業1,355千円、外国人相談事業（通訳者派遣・翻訳の受託）718千円、市民国際交流・協力推進事業284千円、外国人地域参画事業552千円、むさしの国際交流まつり226千円など。						
一次評価	※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。 平成20年度は隔年に開催されている日本語交流員養成講座の参加料収入が約300千円あったという特殊要因を勘案後でも前年比大幅増加となった。今後とも事業推進により事業収入の拡大を図って行く。							
二次評価	目標を達成したことは評価できる。今後は、国際交流協会の法人化を機に組織の財務体質の強化が必要である。そのためには、会員の増強はもとより、自主事業における参加者負担金の一層の適正化や収益事業の検討など、自主財源の確保および事業収入の拡大に努めること。							
③	指標名	財団法人化			目標値	20年度中の手続き完了	実績値	一般財団法人の設立 手続き完了
	過去の実績	平成17年度	平成18年度	平成19年度	達成率	100.0%	達成状況	未実施・未達成・達成
	(単位:)							
	取組内容	※20年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 当初の日程案どおり定款の作成、諸規程の作成、新公益法人会計の採用などを実施し、2回の財団設立発起人会の開催、設立時理事会及び設立時評議員会の開催を経て、平成21年4月1日に一般財団法人に設立登記を完了した。一方任意団体であるMIAは平成21年3月31日に解散しその清算手続きを進めた。						
一次評価	※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。 当初の日程案どおり一般財団法人の設立は完了したので、今年度中の公益認定取得をめざして、公益認定申請書を提出する。							
二次評価	日程どおり一般財団化できたことは評価する。今後公益認定に向け遺漏のないよう手続きを進められたい。							